

■ 研究課題名

27 東京都における梅毒発生動向の分析

■ 研究の概要

梅毒は、五類全数把握疾患に指定されている代表的な性感染症の一つであり、感染した妊婦の胎盤を通じて胎児に感染した場合は、流産、死産、先天性梅毒を生じる原因となる。都における梅毒患者届出数は、2011 年以降増加傾向にあり、男女ともに異性間性的接触が増え、特に妊娠可能な若年層の女性の間で梅毒が著増している。このため、さらなる情報の収集と分析により症例の属性を明らかにし、公衆衛生上の対策を推進する必要がある。

■ 研究期間

平成 30 年度

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

企画調整部健康危機管理情報課

草深 明子